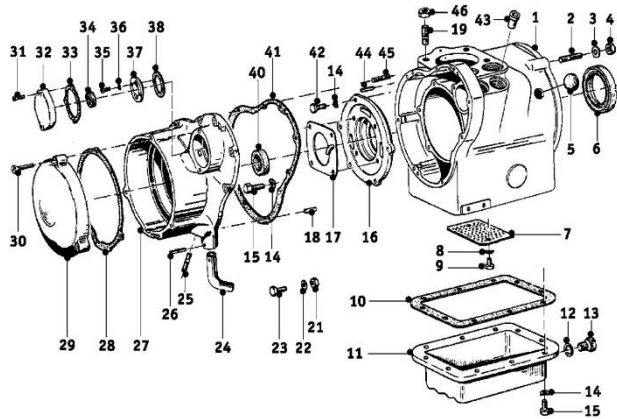


でんでん太鼓なニイナナ R27加速時の異音発生

電車の窓から顔を出さないように！ 学校行事の社会見学などでは定番の注意事項です。
定期的に保線作業をしないと敷設物や通過列車と異常に接近することもあるようです。

R27のオーナーから調子は良いのですが加速時にエンジンから「カチカチ」と音が出るとの訴えがありました。エンジンを降ろさないとダメかな？ ニイナナはフローティング・マウントなので思いのほか手間が掛かるなあとか思い巡らしていました。まずはどんな状況で、どんな音が出るか確認するのが重要です。エンジンをオーバーホールしました、でも改善しませんではお話になりません。テスト走行すると確かに調子は良い。スロットルを開けると「カチカチ」と音が出ますが感覚的に怖い音には思えません。巡航速度ではいたって快調なのです。

異音発生は加速時のみ・・・??? ほどなく原因発見！ スロットルを開けて加速するとポイント部のガバナーが働きウエイトが遠心力で開き点火時期が早くなります。新車では問題ないのですが走行距離が延び、ガバナーの可動部が摩耗してくるとより外側までウエイトが開きます。R25—R26では発電機・ダイナモの先端部の中央にポイント・ガバナーが設置されていましたがR27では個室に移動しました。ポイントカバーも小型でかわいいものになり、ポイント目線になると窮屈になりました。最大進角で広がったガバナー・ウエイトがポイントカバー内側を叩いておりました。詳しく見るとカバー内側に打痕が残っていました。修理としてはスプリングがへたってすぐに最大進角になるのも一因なので特性スプリングに交換し、打痕の残るカバー内面はリューターで拡張し、ウエイトが接触しないよう加工し終了です。案ずるよりも・・・でした。



赤矢印がポイント部 点火コイルはようやくアウトドアへ 「32」がポイントカバー 先行モデルで懲りて電装はエンジン外部へ移設



カバーを取り外すと加速時も異音なし



遠心ガバナー:アサリの舌みたいのがウエイト



でんでん太鼓 上手く回さないと鳴らない